R8年度更新中

CC かわさき エネルギーパーク

CC Kawasaki Energy Park

次世代エネルギーを環境都市かわさきから



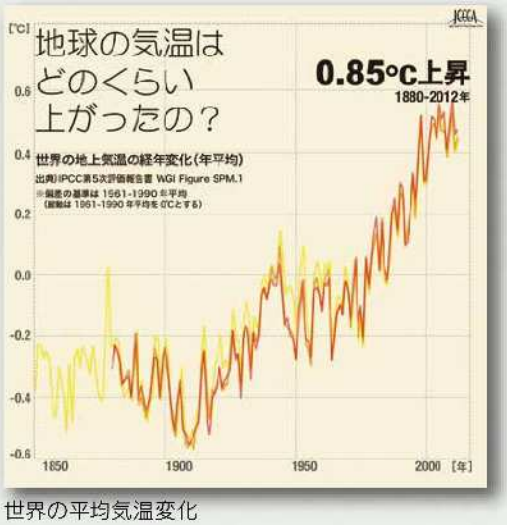




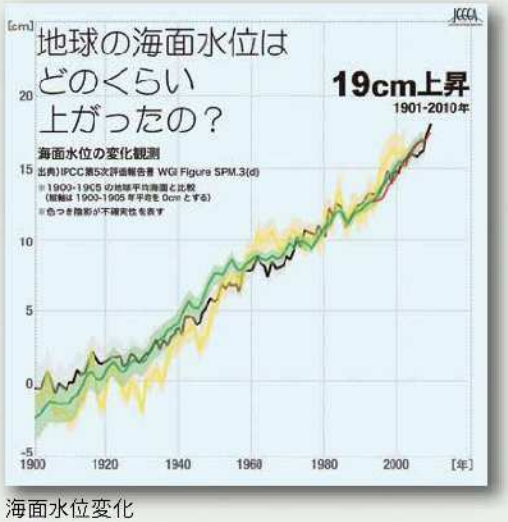
Colors, Future!
川崎市

地球温暖化のいま

2016年の世界平均気温は、観測が始まって以来、過去最高を記録し、最も暑い1年でした。地球温暖化による気温の上昇によって、海面水位の上昇や、農作物への影響など、さまざまな影響が起こり始めています。



世界の平均気温変化

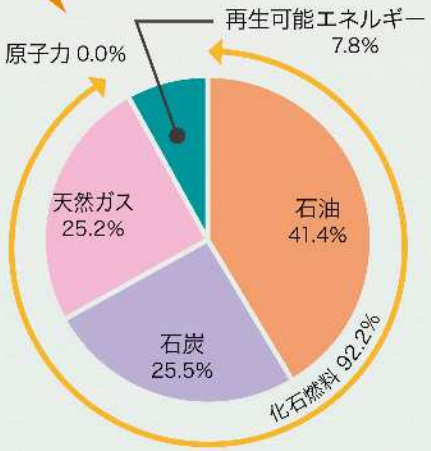


海面水位変化

出典）IPCC第5次評価報告書
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
（http://www.jccca.org/）より

地球温暖化の原因である温室効果ガスの中でも、最も大きな影響を与えているのが二酸化炭素であり、さらにその多くが石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料に起因しています。現在、私たちが電気を使ったり自動車を動かしたりするのに使うエネルギーの大部分を化石燃料に依存しているため、エネルギー消費が増加するにつれて発生する二酸化炭素も増加し、地球温暖化の加速を招いています。そのため、二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの導入や、賢く効率的にエネルギーを利用するなどの総合的な取組が重要となっています。

日本のエネルギー供給の内訳
（2014年度）



出典）エネルギー白書2016

再生可能エネルギーって？

「再生可能エネルギー」とは、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など自然の力を利用したエネルギーのことです。二酸化炭素をほとんど排出しない（増加させない）ため地球にやさしく、枯渇することのない再生可能なエネルギーとして注目され、導入・普及が進んでいます。

太陽光発電



特徴　太陽電池を使って、太陽光を電力に変えるシステムです。天気によって発電量が左右されるなどの課題はありますが、エネルギー源が太陽光だけであり、メンテナンスの必要がほとんどないため、導入が進んでいます。

風力発電



特徴　風の力で風車を回し、電気エネルギーに変えます。夜間でも風が吹けば、発電することができます。近年、小型風力発電の開発が進み、今後の導入が期待されます。

小水力発電

特徴　これまでは大規模ダムによる水力発電が主流でしたが、近年、今まで未利用だった中小規模の河川や水路などを利用するタイプが注目されています。

バイオマス発電

特徴　動植物などの生物資源（バイオマス）をエネルギー源にして、発電に利用します。建築廃材や食品廃棄物などを利用するため資源の有効活用につながり、廃棄物の削減に貢献します。

地中熱利用

特徴　地中温度は地下10～15mの深さになると、外気温と比べて、年間を通して温度の変化が見られなくなります。そのため、夏は冷房、冬は暖房の熱源として地中熱を利用することができます。

太陽熱利用

特徴　太陽熱エネルギーを集熱器に集め、水や空気などの熱媒体を温め給湯や冷暖房などに活用するシステムです。給湯需要の多い建物への導入が期待されます。

CCかわさきエネルギーパーク

産業観光都市＋再生可能エネルギー供給施設

平成23年、川崎市は経済産業省が推進する「次世代エネルギーパーク」に、市域全体を一つのエネルギーパークとして登録しました。

次世代エネルギーパークは、小学生から高齢者まで国民各層が、新エネルギーを中心に日本のエネルギー問題への理解の増進を深めることを通じて、エネルギー政策の促進に寄与することを期待する事業です。

川崎市のCCかわさきエネルギーパークは産業観光都市と環境都市の二つの顔を連携させることで、環境を身近に感じながら、遊べるエネルギーパークとなっています。



次世代エネルギーパークマップ



工場夜景



浮島太陽光発電所

遊べる 楽める 学べる

CC Kawasaki Energy Park Walker

CCかわさきエネルギーパークをめぐろう！



再生可能エネルギー施設

平成 23 年に経済産業省が推進している「次世代エネルギーパーク」に認定された
CC かわさきエネルギーパークは、再生可能エネルギー供給施設を中心に、
川崎の環境事業や技術を体験しながら楽しく学ぶことができます。

map 1 川崎大規模太陽光発電所

詳細は 9ページ

川崎市川崎区浮島町 509-1 浮島処理センター内
電話：044-223-8869

見学可



川崎市と東京電力ホールディングス（株）の共同事業で、浮島・扇島の両地区を合わせて最大出力2万kW、約10万枚の太陽光パネルで発電を行う全国に先駆けて建設されたメガソーラーです。隣接する、かわさきエコ暮らし未来館の見学ガイドツアーに参加すれば、浮島太陽光発電所の迫力を間近に体感できます。

map 2 かわさきエコ暮らし未来館

詳細は 7,8ページ

CCかわさきエネルギーパークの中心施設

川崎市川崎区浮島町 509-1 浮島処理センター内
電話：044-223-8869

見学可



環境を「見て、聞いて、触れながら学べる」がコンセプトの体験型環境学習施設。メガソーラーの見学ガイドツアー（予約制）も実施しています。

map 3 浮島処理センター

川崎市川崎区浮島町 509-1
電話：044-223-8869（かわさきエコ暮らし未来館）

見学可 要予約



一般廃棄物を焼却した際に発生する余熱を利用して発電を行い、センター敷地内の施設に供給するほか、余剰電力を売電しています。その他、場内の給湯や空調、洗濯設備の熱源としても利用しています。

map 4 川崎生命科学・環境研究センター LiSE（環境総合研究所）

川崎市川崎区殿町 3-25-13　電話：044-276-9001

見学可 要予約



川崎生命科学・環境研究センター（LiSE・ライズ）は70kWの太陽光発電や太陽熱利用給湯、地中熱を利用する建物で、CASBEE川崎の最高ランクSを達成しています。また、LiSE内に入居する環境総合研究所は、国連環境計画（UNEP）、国立環境研究所や大学などの外部研究機関、優れた環境技術を有する市内企業等と連携しながら、環境に関する総合的な研究を推進しています。

map 5 入江崎水処理センター

川崎市川崎区池上新町 3-17-1
電話：044-287-5202

見学可 要予約



「環境改善」、「エネルギー活用」、「資源循環」の3つの環境対策を柱とした下水高度処理施設です。小水力発電機がある西系高度処理施設は平成23年6月から併用開始。施設には他言語パネルや音声ガイド、映像・模型を活用した「体験学習室」を設置するなど、「見える化」を推進しています。

map 6 京浜バイオマス発電所

川崎市川崎区扇町 18-1



燃料として主に木質ペレット／パームヤシ殻を利用します。発電出力49,000万kWは、木質バイオマス専焼の火力発電所としては国内最大級であり、年間発電量は約300,000MWhになります。これは一般家庭約83,000世帯の年間消費量に相当します。

map 7 川崎バイオマス発電所

詳細は 10ページ

川崎市川崎区扇町 12-6



建築廃材や剪定した枝などをチップ化したバイオマス燃料を使用したCO_2フリーの発電所で地産地消による資源リサイクルを確立。発電規模33,000kWで、国内初の「都市型バイオマス発電所」として平成23年に操業を開始しました。CO_2削減量は一般家庭約24,000世帯分に相当します。

map 10 川崎スチームネット

川崎市川崎区千鳥町 5-1

ECO



川崎火力発電所の最新鋭コンバインドサイクル発電設備からの蒸気を隣接する10社に供給し、CO_2削減に貢献しています。



※ ECO
再生可能エネルギー施設には分類されませんが、環境に配慮した先進的な施設を御紹介しています。

map 8 扇島風力発電所

川崎市川崎区扇島1-2



臨海部のシンボル的な風力発電所でブレードの長さはなんと約40m。真近からの見学はできませんが、東扇島西公園、川崎マリエンから見ることができます。

map 9 川崎駅東口駅前広場

川崎市川崎区駅前本町地内

自由見学



タクシーシェルターに太陽電池パネルを設置し、発電を行っています。両面発電が可能なパネルをガラス素材の屋根面に挟み込むことで、発電効率を向上させており、発電した電気は、時間や気温、湿度とともに広場の表示板に表示しています。

map 11 東京電力フュエル&パワー(株) 川崎火力発電所

川崎市川崎区千鳥町5-1

ECO



コンバインドサイクル発電を導入する環境性に優れた発電所です。世界最高水準の熱効率61%を達成し、CO_2排出量は従来の発電方法に比べ約30%削減です。

map 12 川崎クリーンパワー発電所

川崎市川崎区水江町4-1
電話：03-3[illegible]-3508

ECO

見学可 要予約



環境配慮型の天然ガスを燃料とした高効率ガスエンジンによる発電所。合計出力は30,000kWで、需要家に電力を供給するとともに、隣接する施設へも一部供給しています。

map 13 エリーパワー(株)川崎事業所

川崎市川崎区水江町4-7

ECO



電力需要のピークを抑えるピークカットや災害時の非常用電源などに期待される「電力貯蔵用大型リチウムイオン蓄電池セル」を独自開発した全自動ラインで製造しています。

map 14 川崎天然ガス発電所

川崎市川崎区扇町12-1

ECO



天然ガスを燃料とするガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインドサイクル発電で、従来システムに比べ大幅な熱効率アップを実現しています。また、トラブルによる停止も少なく、安全かつ安定的な発電を継続しています。

map 15 川崎地下街アゼリア

川崎市川崎区駅前本町26-2

ECO



「低CO_2川崎パイロットブランド'09」選定技術である「水和物スラリ蓄熱空調システム」を採用。冷水と同じ温度域で潜熱蓄熱することで、冷水の2倍以上の冷熱の蓄熱を実現しています。

遊べる 楽しめる 学べる

CC Kawasaki Energy Park Walker



再生可能エネルギー施設

map 16 南河原こども文化センター

川崎市幸区都町 74-2
電話：044-511-4963

見学可 要問合



鋼管杭を利用した地中熱利用空調システムを導入した施設で、JFE鋼管（株）、JFEスチール（株）及び川崎市でシステムについての共同研究を行いました。

map 17 ~~江ヶ崎発電所・鷹取発電所~~・平間発電所

(江ヶ崎)横浜市鶴見区江ヶ崎町 6　(鷹取)川崎市富前区土橋 3-1-1
(平間)川崎市中原区上平間 1668　電話：044-866-0335

見学可 要予約



上水道の自然流下による水の流れのエネルギーを有効利用したマイクロ水力発電で、地方自治体と民間企業による共同事業としては全国初の取り組みです。

map 18 幸区役所

川崎市幸区戸手本町 1-11-1



太陽光発電設備で発電した電力は庁舎内で使用しています。災害時には非常用電源としても使用できます。1階にモニターを設置してエネルギーの活用状況を表示しています。



map 19 東急東横線元住吉駅

川崎市中原区木月 1-36-1

自由見学



ホーム・コンコース上部に140kWのソーラーパネルを設置し駅全体使用電力の13%を賄っています。その他にも雨水再利用・構内緑化などにも取り組んだ環境配慮型の橋上駅舎となっています。

map 20 国際交流センター

川崎市中原区木月祇園町 2-2
電話：044-435-7000

見学可 要問合



市民、事業者からの寄付金とグリーン電力基金からの助成金などによって設置された市民共同発電所で、屋上の太陽光発電設備で発電された電力はセンターで使用しています。

map 21 中原区役所

川崎市中原区小杉町 3-245
電話：044-744-3149（中原区役所企画課）

見学可 要問合



地域への再生可能エネルギーの利用促進と普及啓発を目的に、区役所庁舎に設置されている太陽光発電設備（ハイブリッド発電）などを見学する「なかはら環境ショーケース」を開催しています。

map 22 高津区役所

川崎市高津区下作延 2-8-1
電話：044-861-3131

見学可 要問合



蓄電機能（リチウムイオン電池）を備えた太陽光発電システムは平常時においては、庁舎の電力とあわせて使用する、系統連携方式を採用。災害時は、区役所の非常用電源として使用できます。また、高津区役所では庁舎をまるごと環境展示場とし（エコシティホール化）、来庁者に環境問題の学びの場にしてもらう取り組みを進めています。



※ ECO
再生可能エネルギー施設には分類されませんが、環境に配慮した先進的な施設を御紹介しています。

詳細は11ページ

map 23 長沢浄水場

神奈川県川崎市多摩区三田 5-1-1
電話：044-200-3097

見学可 要問合

ろ過池や配水池などの上部に設置されている太陽光発電施設で発電した電力は、場内で使用しています。
余った電力は蓄電池に充電し、夜間や災害時に使用します。

map 24 王禅寺処理センター

川崎市麻生区王禅寺 1285
電話：044-966-6135

見学可



一般ごみを焼却処理する施設。同時に排ガスの熱で発生した蒸気を利用し、最大7,500kWの電気を作り出しています。隣接するヨネッティー王禅寺の温水プールなどにも蒸気を利用しています。

map 25 麻生区役所

川崎市麻生区万福寺 1-6-1
電話：044-965-5370

見学可 要問合



5kWの太陽光発電設備を屋上に設置し、発電した電力は区役所庁舎の電力として使用するほか、市民と連携した自然エネルギーを中心とする地球温暖化対策の普及啓発活動も行っています。

のみぃちゃん

CCかわさきイメージキャラクター
エコちゃんず

ろじぃちゃん

map 26 NEC 玉川ソリューションセンター

川崎市高津区下沼部 1753



既築ビルのスマートビル化（高効率機器の空調や照明設備等の導入、ＩＣＴの活用、導入設備の各種設定、制御の適正化など評価、検証等）により商用電力を50%削減しています。

map 27 聖マリアンナ医科大学エネルギーセンター

川崎市宮前区菅生 2-16-1 聖マリアンナ医科大学内
電話：044-977-8111

見学可 要問合



大規模ガスコージェネレーションシステムで発電すると共に、排熱を有効利用することで大幅な省エネを実現しています。

遊べる 学べる 楽しめる

CCかわさきエネルギーパークの中心施設!

かわさきエコ暮らし未来館

1F

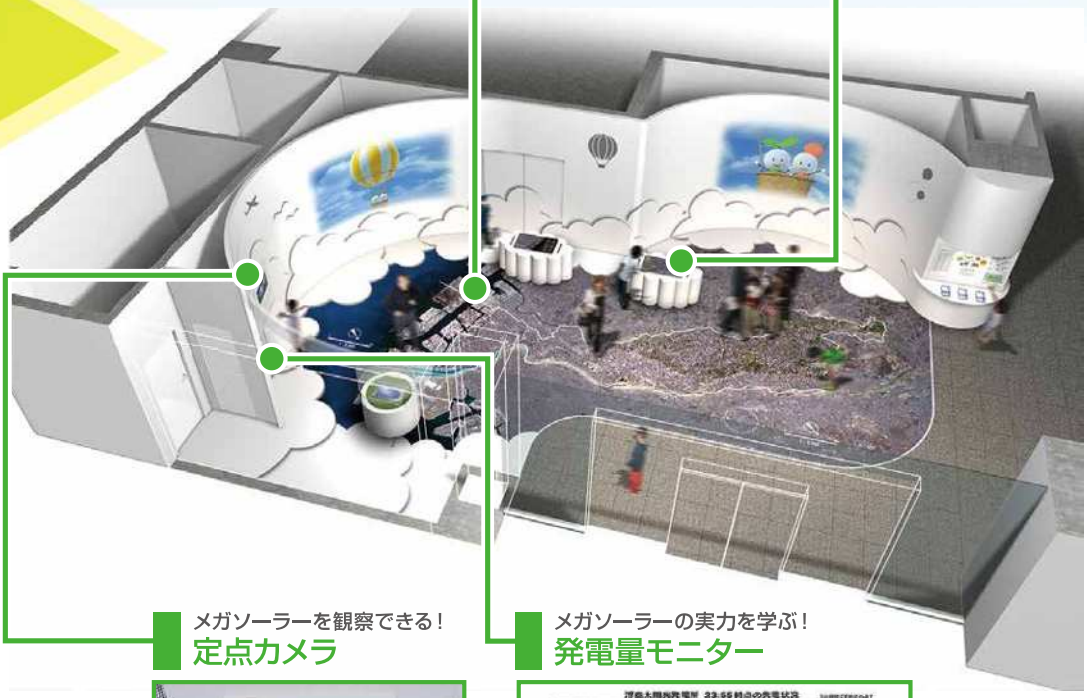
ガイダンスゾーン

空中散歩を楽しむ!
航空写真



市内を一望!
川崎環境施設マップ

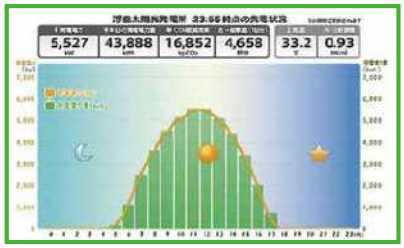




メガソーラーを観察できる!
定点カメラ



メガソーラーの実力を学ぶ!
発電量モニター



Facility Information
施設情報

住　　所　〒210-0862 川崎市川崎区浮島町509-1 浮島処理センター内
入 場 料　無料
開館時間　9:00～16:30まで　(入館は16:00まで)
休 館 日　毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌日が休館日です。)
　　年末年始:12月29日～1月3日
　　※設備点検の為、臨時休館とする場合があります。
T E L　044-223-8869
U R L　http://eco-miraikan.jp



2F

再生可能エネルギーゾーン

最先端の環境技術を学ぶ！
臨海部の環境力



エネルギーの使い方を学ぼう！
わたしたちとエネルギー



再生可能エネルギーを学ぶ！
地球のチカラ



資源循環チャレンジゾーン

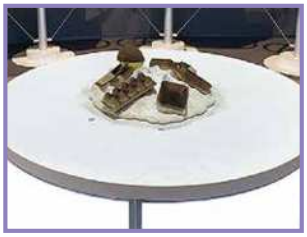
ゴミを減らす行動を学ぶ！
資源循環チャレンジ行動でエコ暮らし

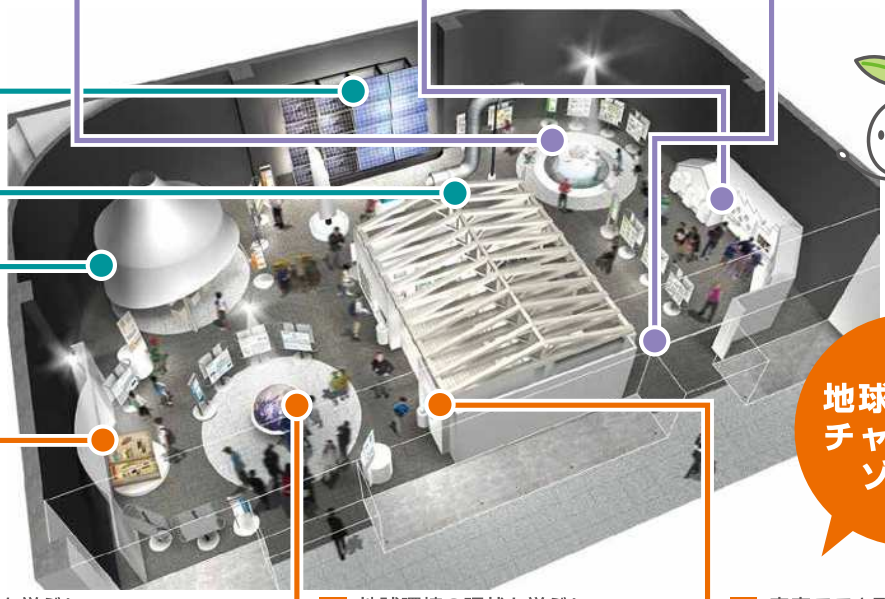


資源物のその後を学ぶ！
資源循環のみちのり



リサイクルを学ぶ！
モノの再生







地球温暖化チャレンジゾーン

川崎の環境の歴史を学ぶ！
川崎の暮らし環境100年アルバム



地球環境の現状を学ぶ！
地球の危機



家庭でできるエコ活動発見！
めざせ！ エコ暮らし



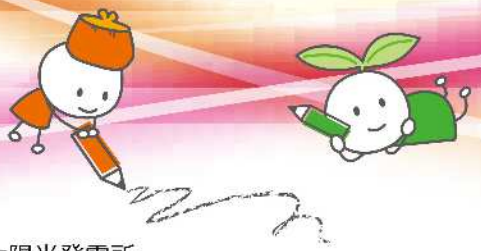
見学会予約方法

個人での見学 ➡ 自由見学

団体での見学 ➡ こちらから予約できます。 https://eco-miraikan.jp/contact/index.php

Pick Up!

浮島と扇島で合計出力約2万kWのメガソーラー



川崎市臨海部の浮島と扇島に、川崎大規模太陽光発電所（メガソーラー）があります。2か所合計で出力約2万kWを誇り、大規模太陽光発電の先駆けとして普及啓発に貢献しています。

浮島太陽光発電所



扇島太陽光発電所



浮島太陽光発電所

発電電力量
約892万kWh
1,000軒 1,000軒 1,000軒
一般家庭約3,000軒分の年間使用電力量に相当

CO₂排出量削減効果
約4,500t
800軒 80軒
一般家庭約880軒分の年間CO₂排出量に相当

扇島太陽光発電所

発電電力量
約1,253万kWh
1,000軒 1,000軒 1,000軒 1,000軒 200軒
一般家庭約4,200軒分の年間使用電力量に相当

CO₂排出量削減効果
約6,300t
1,000軒 200軒 10軒 10軒 10軒
一般家庭約1,230軒分の年間CO₂排出量に相当

浮島・扇島太陽光発電所数値データ

※実績は平成22年度（予定値）のものです

発電所名	浮島太陽光発電所	扇島太陽光発電所
所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島	神奈川県川崎市川崎区扇島
最大出力	7,000kW	13,000kW
年間発電電力量	約892万kWh	約1,253万kWh
CO2排出削減量	約4,500t	約6,300t
敷地面積	約11ha（川崎市所有）	約22ha（東京電力所有）
太陽電池モジュール枚数	約38,000枚	約64,000枚
運転開始	平成23年8月10日	平成23年12月19日

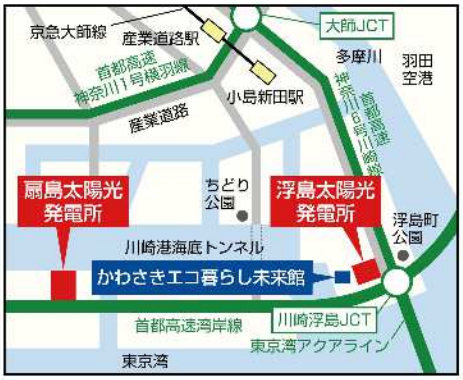
浮島太陽光発電所（平成23年8月10日運転開始）・扇島太陽光発電所（平成23年12月19日運転開始）は、川崎市と東京電力ホールディングス（株）の共同事業として、全国に先駆けて川崎市の臨海部に建設されたメガソーラー発電所です。川崎市は太陽光発電等の普及啓発および土地の提供（浮島）を担っており、東京電力ホールディングス（株）は発電所の建設および運転・保守を行っています。浮島太陽光発電所は、隣接するPR施設「かわさきエコ暮らし未来館」を通じ、一般の方々の見学も受け入れています。



かわさきエコ暮らし未来館
アテンダントリーダー　峯 菜々子

環境について、見て、聞いて、触って学べる体験型環境学習施設

川崎市運営の「かわさきエコ暮らし未来館」は、地球温暖化、再生可能エネルギー、資源環境の3つのテーマを体験して学べる環境学習施設です。浮島太陽光発電所を展望スペースや構内から見学できるガイドツアー（予約制）も行っています。また、定期的にエコをテーマにした工作教室等を開催し、子供たちの想像力を膨らませています。



JR川崎駅東口から臨港バス川03系「浮島バスターミナル行」終点「浮島バスターミナル」下車、徒歩約10分

Pick Up!

人、環境…社会との共存共栄へ 100%CO_2フリーのクリーンエネルギー

川崎バイオマス発電所は、石油・石炭などの化石燃料を使用せず、専ら木質バイオマス燃料を利用（カーボンニュートラルによる）して「CO_2フリーのクリーンな電気」を発電・供給する地球環境に優しい発電所です。川崎バイオマス発電所で電気を作ることにより、年間およそ12万tCO_2を削減することができます。





チップ1kgで1kWh発電！
約7時間テレビが見れる



煙突から白く立ち上っているのは、煙ではなく水蒸気です

川崎バイオマス発電所

発電電力量
約2億kWh
一般家庭約58,000軒分の年間使用電力量に相当

CO_2排出量削減効果
約12万t
一般家庭約23,760軒分の年間CO₂排出量に相当

川崎バイオマス発電所数値データ

発電所名	川崎バイオマス発電所
所在地	神奈川県川崎市川崎区扇町
最大出力	33,000kW
年間発電電力量	約2億kWh
CO_2排出削減量	年間約12万t
燃料	木質チップ（年間約18万t）
敷地面積	2ha（20,000m²）
運転開始	平成23年2月

川崎バイオマス発電所は平成23年2月に操業を開始した国内最大（当時）のバイオマス専焼発電所です。建設廃材、廃パレットおよび剪定枝等をチップ化したバイオマス資源を燃料とするにより、木材のリユース・リサイクルを促進し、森林資源の効率的な利用と環境保護を図ります。その上、CO_2フリーの発電を行うことにより地球温暖化防止にも貢献しています。



川崎バイオマス発電株式会社
代表取締役 社長　村上 弘

国内初！都市型バイオマス発電所

川崎バイオマス発電所は建設廃材などが多く発生する首都圏に注目し、あえて都市部に建設した国内初の「都市型バイオマス発電所」です。当所で使用する燃料の40%を川崎市内から、70%を神奈川県下から仕入れており、エネルギーの地産地消に加え、輸送に伴うCO2の削減にも貢献しています。一方で環境対策にも力を入れています。地方のバイオマス発電所にはない排煙脱硝装置、排煙脱硫装置、バグフィルターなどの大気環境設備を備えており、川崎市の厳格な環境規制を高いレベルでクリアしています。



川崎鶴見臨港バス川22系統三井埠頭行き、昭和電工前バス停より徒歩10分
川崎市バス川13系統扇町行き、扇町バス停より徒歩3分

Pick Up!

長沢浄水場再構築

～より環境にやさしく～

川崎市では、水道事業および工業用水道事業の再構築計画（平成18年度～平成28年度）に基づき、将来の水需要を踏まえ、浄水場の統廃合等により給水能力をダウンサイジング（水道事業989,900㎥/日⇒758,200㎥/日、工業用水道事業560,000㎥/日⇒520,000㎥/日）することとし、潮見台浄水場、生田浄水場（水道）を廃止する一方で、長沢浄水場を更新、増強しました。再構築の完了に伴い、長沢浄水場は、より環境に優しく、より災害に強い浄水場になりました。

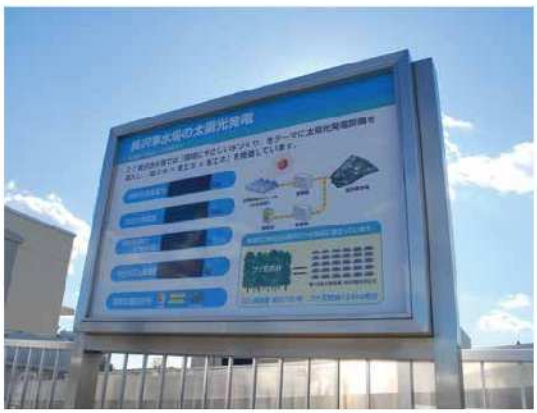
施設配置図





長沢浄水場数値データ

長沢浄水場	長沢浄水場数値データ
施設名	長沢浄水場
所在地	神奈川県川崎市多摩区三田
発電種類	太陽光発電
最大出力	1,155ｋｗ
太陽光パネル数	4,456枚
平成28年度年間浄水ポンプ使用電力量	約10,000ｋＷｈ/年（Co2換算5t）（見込み）
給水能力（水道事業）	758,200㎥/日
給水能力（工業用水道事業）	520,000㎥/日
施設処理能力（上水道）	280,000㎥/日
施設処理能力（工業用水道）	250,000㎥/日
用地面積	197,691.6㎡



より環境にやさしく

長沢浄水場では、ろ過池や配水池などの上部に発電能力1,155kWの太陽光パネルを設置し、年間電力使用量の約2割を賄っています。余った電力は蓄電池に充電し、夜間や災害時に使用します。浄水場内に降った雨水及びろ過池や配水池で発生した排水を雨水調整池に集めて、工業用水として有効利用しています。ろ過池については、ろ過砂の逆洗方法を洗砂水槽や揚水ポンプを使用しない自己水逆洗方式とすることで、ポンプ動力を削減しています。さらに、沈でん池等で発生した沈殿物は排水処理施設で脱水し改良土とセメントの原材料として再生利用しています。

川崎市上下水道局サービス推進部サービス推進課



小田急線向ヶ丘駅下車
北口1番乗り場から【向11】あざみ野駅行、または【向12】聖マリアンナ医科大学行で浄水場入口下車　徒歩5分

環境やエネルギーについてもっと勉強したい！





平成28年4月に オープン！

王禅寺エコ暮らし環境館



JR武蔵溝ノ口駅、小田急線柿生駅・生田駅、田園都市線宮前平駅から市営バス「長沢入口」下車後すぐ

王禅寺処理センター敷地内にできたエコ暮らし環境館。資源循環、地球温暖化、自然共生など環境についてたくさん勉強できる施設です。併設している資源化処理施設では、空き缶・ペットボトルの選別作業などの見学ができます。平成 29 年 1 月には、屋上庭園や自然がいっぱいの「かわるんパーク」もオープン。







川崎駅西口から徒歩約1分

最先端の技術が集結！

東芝未来科学館

「人と科学のふれあい」をテーマに、発電技術はもちろん、スマートコミュニティに関連する様々な技術や仕組みを楽しみながら学べます。回転運動や化学反応などを使った発電体験コーナーもあります。



「CCかわさき」ってなに？

CC かわさき（正式名称：カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略）とは、「環境と経済の調和と好循環」を推進し持続可能な社会を地球規模で実現するため、全市をあげて取り組むことを基本的な考えとして、市民や事業者などの多様な主体が一丸となって取り組む、川崎市の温暖化戦略です。

川崎市におけるエネルギーの取組

京浜工業地帯の中心地として成長を遂げた産業都市川崎。
その一方、環境問題という大きなテーマを抱えました。
行政と市民が一体となって環境問題へ取り組み、改善を続けてきた川崎には産業技術、環境技術が多数集積し、臨海部をはじめ内陸部にも先端的な工場、研究所が立地しています。



川崎市概要
- 面　積：144.35 ㎢
- 人　口：1,491,577 人
- 世帯数：704,776 世帯

（平成29年1月1日現在）

また、首都圏の好位置にあり、道路・鉄道・航空など交通利便性が高いことから、人口が増え続けている「元気な都市」でもあります。

こうした特徴や強みを生かした、“川崎らしい”エネルギーの取組を推進するため、川崎市は取組の先に「めざす姿」を定め、さまざまな施策を進めています。

“川崎らしい”エネルギーの取組による「めざす姿」

- 多様な主体がエネルギーの利用について、自ら考え行動する都市
- 最先端の技術を取り入れた創エネ・省エネ・蓄エネの総合的な取組を推進する都市

取組の推進に向けた４つの施策

Ⅰ 多様な主体の協働によるエネルギーの取組の推進

Ⅱ 災害時におけるエネルギーの確保など、持続可能な市民生活等のための創エネ・省エネ・蓄エネの総合的な取組の推進

Ⅲ 優れた環境技術など、本市の強みと特徴を活かした新たなエネルギー産業の創出と国際貢献の取組の推進

Ⅳ エネルギーに関する国内外への情報発信の取組の推進


市内事業者と連携した体験型イベント


自立型水素エネルギー供給システムの設置


かわさきエコ暮らし未来館で学ぶ小学生

公共施設への太陽光発電設備の導入

市内の再生可能エネルギーの普及を率先的に進めるため、建物や設備の改修・改築などに合わせて、公共施設への太陽光発電設備などの導入を積極的に進めています。

これまでに、87施設(合計出力2,641kW)へ太陽光発電設備を設置しました。

このほか、小中学校などの市立学校へもこれまでに56校へ導入しており、子どもたちへの環境教育にも活用されています。





幸区役所／太陽光発電設備と屋内で確認できる発電量モニタ

公共施設への太陽光発電設備導入例

（平成23年度から平成27年度までの5年間の実績）

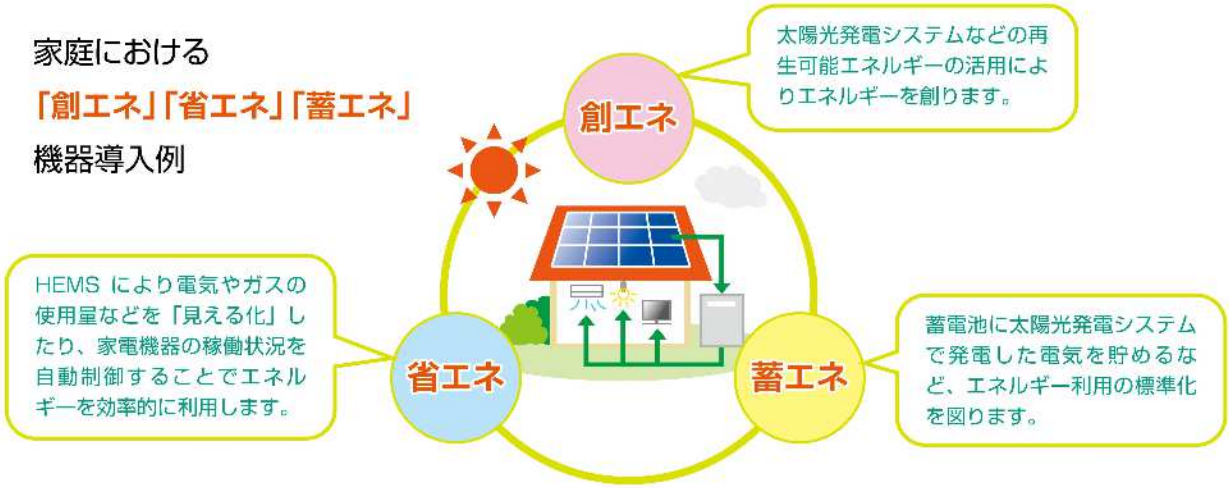
施設名	設置年度	発電容量(kW)
平和館	平成23年	19
青少年科学館	平成23年	5
宮前区役所	平成23年	10
多摩区役所	平成23年	8
生田緑地東口ビジターセンター(5kW) 生田緑地西口サテライト(2.5kW)	平成23年	7.5
井田病院	平成23年	20
国際ナノ・マイクロ技術産業化支援センター	平成24年	30
小杉駅南口駅前広場	平成25年	15.9
生田緑地ゴルフ場クラブハウス	平成25年	5.5
幸区役所新庁舎	平成26年	87
等々力陸上競技場	平成26年	150
新川崎駅周辺自転車等駐車場第5施設	平成26年	20
長沢浄水場	平成26年	1,155
武蔵小杉駅周辺自転車等駐車場第5施設	平成26年	15.3
王禅寺処理センター資源化処理施設	平成27年	10.7
川崎競輪場	平成27年	69.9
多摩川緑地バーベキュー広場	平成27年	0.8
川崎マリエン及び東扇島中公園	平成27年	30
合　計(平成23年度ー平成27年度)		1659.6

累計(平成27年度末現在)87施設　2,641kW

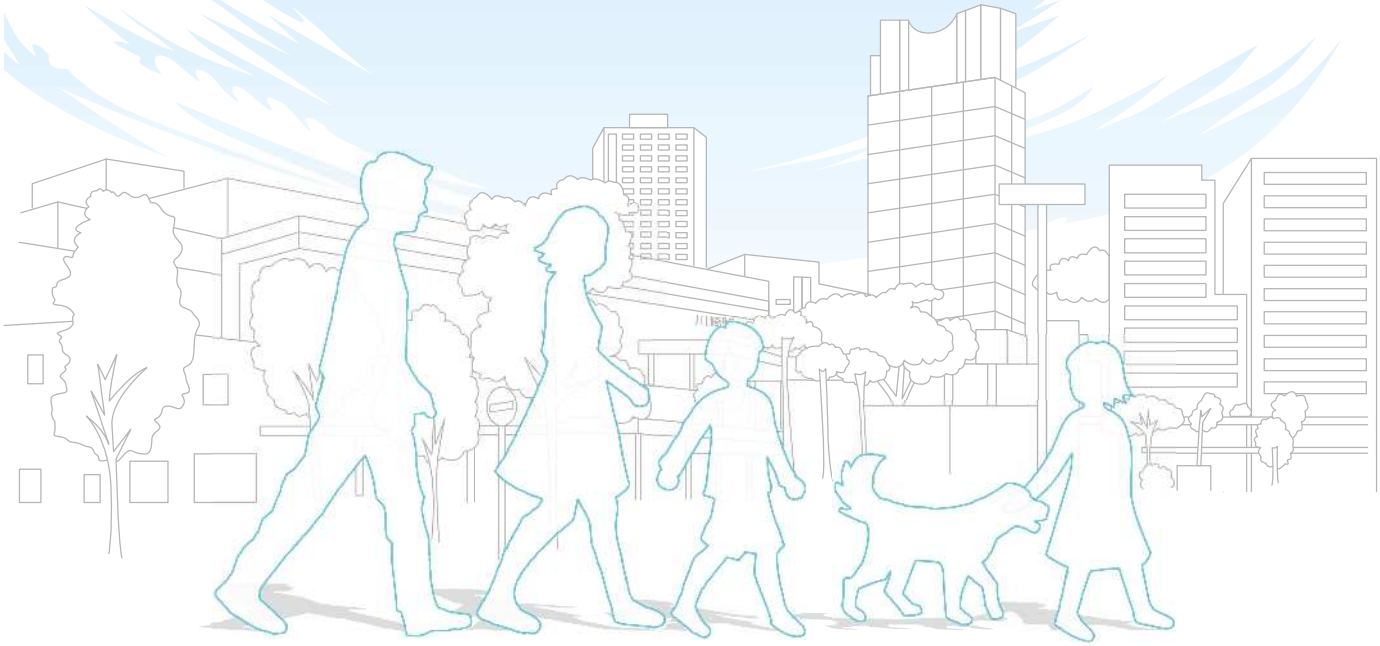
みんなで考えよう！わたしたちのエネルギー

川崎らしいエネルギーの取組による「めざす姿」を実現するためには、年々増加傾向にある家庭部門におけるCO_2削減のための自主的な取組も重要となっています。
家庭部門のCO_2排出削減の対策として、こまめに電気を消すなどの節電や、創エネ・省エネ・蓄エネ機器を導入することなどが挙げられます。

家庭における
「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」
機器導入例



これらの機器を複合的に導入することでエネルギーの有効利用を総合的に行います。その中でも、快適な住環境を保ちつつ、創エネ・省エネ・蓄エネを実現するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH(ゼッチ))が注目を集めています。



CC Kawasaki Energy Park

CCかわさき
エネルギーパーク
をもっと知りたい!

Colors, Future!
川崎市

川崎市環境局地球環境推進室
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地　TEL:044-200-3871
川崎市のホームページではさらに詳しい情報をご覧いただけます。